



諏訪湖通信82号

令和7年4月21日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



「諏訪湖に学ぶ(水環境編)」講座について観光ガイドさんから意見を伺いました

令和7年3月6日(木)、諏訪湖環境研究センター(以下「センター」)において、地域の皆様等への学びの支援に向けた取組が早速始まりました。この取組は「諏訪湖創生ビジョン 学びの推進」に位置付けられており、センター開所前から諏訪湖の案内人(仮称)ワーキンググループ(以下「WG」)において検討が進められてきたもので、今回は日頃から地域住民や観光客の方々に諏訪地域の歴史文化等をお話されている13名の観光ガイドさんに受講していただき、今後、魅力的な講座となるよう大所高所から改善点も含めたご感想をいただきました。

【WG 検討結果、次期ビジョン改定(R10.3)までの取組】

諏訪湖の水環境や歴史・文化等を多くの方が学べる環境づくりとして

- 1 水環境講座は諏訪湖環境研究センターが、歴史・文化等の講座は諏訪地域振興局企画振興課が担当する。
 - 2 開講する講座の名称は多くの方が気軽に受講できるよう親しみやすい【諏訪湖に学ぶ(〇〇編)】とする。
 - 3 歴史・文化等の知見やガイドスキルを有している既存の観光ガイド団体様と連携し、諏訪湖の水環境の知見についても併せて地域住民、観光客の皆様へ発信いただけるようご協力をお願いする。
- (上記1～3の取組を今後進めて行くことが承認され、WGは解散となりました。)



(観光ガイドさんへの講座開講中の様子)

民間企業など有志の皆様によって水質浄化実験が始まりました

令和7年3月29日、岡谷市湊の花岡第2船着き場にて、水質浄化装置の説明会が開かれました。装置は地元企業である(株)アイ・コーポレーション様、(株)テンノウ・フーズ様や天竜川流域の企業((株)グリーン様、(同)ウィザース様)などが中心となって設置したもので、美しい諏訪湖を未来に残したいという強い想いから実現しました。低酸素状態にある水中に空気(酸素)を超微細気泡の形態で供給することで微生物が汚泥を分解し底生動物等の生息しやすい環境を整えるとのことです。諏訪湖の水質浄化を諏訪湖流域だけでなく天竜川流域の皆様とも一緒になって考えるきっかけとなり、その輪が大きくなることを願っています。



(説明会の様子)



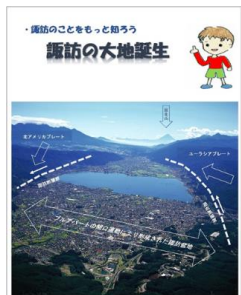
(設置された装置(B-369))

諏訪湖クラブが作成した「諏訪湖に学ぶ」の冊子を諏訪地域の小中学校他に配布しました

諏訪湖クラブが、令和6年度の長野県地域発元気づくり支援金を活用し、「諏訪湖に学ぶ」として作成した冊子4冊が完成し、諏訪地域の小中学校他に配布しました。



- (1)「日本の近代化を支えた蚕糸業とカイコについて学ぼう」
A4 サイズ32p、3、500冊
編集: 伴野豊氏
- ・蚕糸業とカイコ
 - ・蚕糸業と日本の近代化
 - ・カイコを育ててみよう
 - ・育てた繭から糸繰り
 - ・繭クラフト作り
 - ・カイコのことをもっと知ろう



- (2)「諏訪の大地誕生」
A4 サイズ24p、3、500冊
編集: 北澤和男氏
- ・日本列島の誕生
 - ・中央構造線の形成
 - ・フォッサマグナの形成
 - ・諏訪の火山活動
 - ・諏訪盆地・諏訪湖の形成



- (3)「諏訪湖の漁業とさかなたち」
A4 サイズ40p、6、000冊
編集: 沖野外輝夫氏 八幡義雄氏
- ・諏訪湖の漁業の歴史
 - ・諏訪湖の漁獲量の推移
 - ・古くから伝わる漁法
 - ・諏訪湖に生息する在来魚
 - ・諏訪湖に移入された移入魚
 - ・諏訪湖に生息するエビや貝



- (4)「諏訪湖の鳥、周辺の鳥」
A4 サイズ28p、6、000冊
編集: 林正敏氏
- ・諏訪の空をトキが飛んでいた頃
 - ・四季を通して観察できる鳥たち
 - ・南の国から渡ってきた夏鳥たち
 - ・北の国から渡ってきた冬鳥たち
 - ・諏訪湖を中継地とする旅鳥たち
 - ・野鳥を観察に出掛けよう
 - ・餌台の作り方とその心得

番組「新時代の諏訪湖へ」が長野放送 NBS フォーカス∞信州で放映されます。

諏訪湖の浄化の35年その今とこれから かつてのアオコに汚れていた諏訪湖は、どのように潤いのある姿を取り戻せたか。これまでの長野放送の貴重な映像によって浄化の歩みと今を見つめます

放映日時: 令和7年4月25日(金)午後7時～8時

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901